

## 『オランダ風説書と近世日本』 正誤表

(2023年6月23日)

### 第一章 風説書確立以前のオランダ人による情報提供

ページ	該当箇所*	誤 (現テキスト)	正
35	後ろから4行目		注(1)を後ろから5行目の「に送られる。」の脇に移動
36	11行目	本書では「風説書」	本章では「風説書」 *第2刷では修正済
50	3行目	ポルトガル援助問題	ポルトガル使節援助問題
64	注(1)	German	Germain
65	注(18)	一九九五年)。	一九九五年) 一〇四 - 一一〇頁。 *第2刷では修正済
67	注(43)	一六五八年二月二日条。	一六五八年三月三日条。

### 第二章 オランダ風説書の確立過程

ページ	該当箇所*	誤 (現テキスト)	正
77	5行目	渡仰付之 (初刷) 被仰渡之 (第2刷)	被 仰付之
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 『通航一覧』6〈清文堂による復刻、1967年〉225ページでは、「渡仰付之」ママ</li> <li>・ 国立公文書館所蔵内閣文庫 184-0270(137) 写本「通航一覧」及び東京大学史料編纂所所蔵外務省引継書類 1026-143 写本「通航一覧」のによれば、○「被 仰付之」 <a href="https://clioimg.hi.u-tokyo.ac.jp/viewer/view/idata/T02/_/1026/143/00000027?m=all&amp;n=20">https://clioimg.hi.u-tokyo.ac.jp/viewer/view/idata/T02/_/1026/143/00000027?m=all&amp;n=20</a></li> </ul>			
91	最終行	提出	報告 *第2刷では修正済

第四章 「通常の」風説書に「原文」は存在したか

ページ	該当箇所*	誤 (現テキスト)	正
140	1行目	寛政一〇	寛文一〇 *第2刷では修正済
140	2行目	寛政一一	寛文一一 *第2刷では修正済
140	後ろから6行目	脚下	却下 *第2刷では修正済

第五章 別段風説書の成立

ページ	該当箇所*	誤 (現テキスト)	正
157	4行目	(後述)	削除する *第2刷では修正済
157	9行目	一方、虎門寨追加条約や税率表、布告文などの条文(10-14)は管見の限り和文写本に収録されていない。	削除する *238ページ 表5にあるように、鍋島家文庫「籌辺新編」に記載されている。 *第2刷では修正済
157	後ろから2行目	商館長	臨時商館長 *第2刷では修正済

第六章 一八四四年オランダ国王ウィレム二世の「開国勸告」の真意

ページ	該当箇所*	誤 (現テキスト)	正
181	後ろから3行目	商館長や通詞	商館長や商館員 *第2刷では修正済

第七章 一八四五年の別段風説書

ページ	該当箇所*	誤 (現テキスト)	正
224	後ろから 8 行目	(ムンバイ)	〔ムンバイ〕 * 第 2 刷では修正済
235	(24) ~ (27)	状態悪くて読めず	削除する  * 258 ページ 注 (59) の片倉論文で内容の概略が紹介されている。

終章 オランダ風説書の終局

ページ	該当箇所*	誤 (現テキスト)	正
285	10 行目	スンビン号艦長	ヘデー号艦長 * 第 2 刷では修正済

\* 行数は空白行を含まないタイトル、本文だけの行数です。